



福田南 交流センター だより

<No. 125> 令和7年6月②

磐田市福田5489-2 電話55-3123

・・・ 自らで感染予防策を・・・

R7.5.18

ドローン操縦体験

福田南交流センター講座

10人の参加者を得て、楽しく有意義に行われました。講師から、法的なことのお話の後、登録・飛行申請・飛行計画等の行い方、機体(センサーの働き等)の説明を受け、ドローンによる空撮の映像を鑑賞しました。

そして、操縦体験を行いました。一人一人コントローラを持ち、離陸・前進・後退・左右とスティックを自在に操り、着陸と一連の動きを体験できました。

最後に、園庭に出て、149mの高さに上昇する機体を見たり、コントローラに映し出される太平洋を見たり、のデモンストレーションに感激して終了しました。



<空撮映像の鑑賞>



<操縦の仕方の説明>



<実際に操縦>



<実際に操縦>



<外での講師操縦>



<149 mの高さ感じる>

R7.5.9

自走式 無線 草刈り機

ぼう僧川右岸
堤防・西橋西200m

・・・デモンストレーション・・・

福田南まちづくり協議会・安全安心部会主催で年2回、堤防の草刈りを行っています。堤防の法面は傾斜がきつく、足場の不安定さもあるので、草刈り機の使用に難儀している状況です。

今回、袋井土木事務所の職員による、無線操縦の自走式草刈り機で、堤防現場での草刈りデモンストレーションを見学することが出来ました。

参加者は、法面などを自在に草刈り走行する様子を見て、たいへん興味を覚えていたようでした。

操縦も少しの練習で習得できるのではと感じました。操縦訓練の講習会や自治会等に貸出が出来る環境づくりを強く望んでいる意見が多数出ていました。

地域の環境美化推進に大きな勇気をいただきました。



わくわくホリデー

メダカ教室

R7.5.24

天候が心配されましたが、曇り空で暑くもなく活動が出来ました。

最初に、めだかの飼い方を学習した後、外に用意されためだかの採卵、めだかすくいに移りました。

採卵はほとんどの参加者が初めての経験のようで、興味深く指でとり、入れ物に入れていました。特に子供たちの目がキラキラと輝いていたように思いました。採卵が落んだ参加者から、持ち帰りのめだかを1人10匹まですくい取りました。

参加者の皆さんは、卵・めだかを大事そうにして帰って行きました。



<メダカの飼い方>



<採卵の仕方を聞く>



<採卵に挑戦>



<たくさんあるね！全部採っちゃおう！>



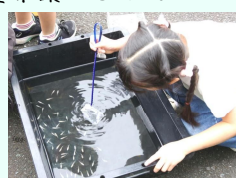
<これが卵だよ！>



<お母さんと一緒に！>



<すばしっこいなあー！>



<すばしっこいなあー！>



<すばしっこいなあー！>

R.5.20

自転車マナーば

福田南安全
安心部会

一列走行は出来ている！

本年度第1回の「自転車マナー指導強化の日」が地区内各所で行われました。

通勤時間帯には、結構な量の車が行き来しますので、特に自転車はより慎重な運転が望まれます。

本年度は、午前中・午後の自転車マナー指導強化の日の活動が4回行われます。



元気に楽しく交流

いかまい会の活動

福祉ボランティア



② 4月16日

「かぶとをデザインしよう！」 折り紙でかぶとを折って表しました。



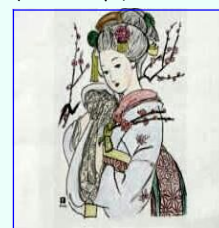
③ 5月7日

「磐田防犯デイズ」の皆さんによる寸劇から、息子になりすましたり、還付金あると言ったりした場面を通して、だまされない方法を教えていただきました。



④ 5月21日

「血圧測定」で健康をチェック後、「塗り絵」に挑戦しました。同じ図柄でも、塗り方(濃い薄い、重ね塗り、指を使ってぼかしたりなど)によって雰囲気が変わり、個性ある作品が出来ました



子育てサロン ② 福田南福祉部会 R7.5.8 「おひさま」へようこそ！

健康増進課の保健師さんから、一人一人の健康づくりは「食事」「運動」「睡眠・休養」の3つが大切と「健幸いわた21」のチラシをもとにお話をいただきました。

母の日が近いということで、「母の日プレゼント」をスタッフの皆さんのサポートを受けながら、楽しく作品ができました。お母さんたちも笑顔になっていました。



健康づくりチェックポイントなどのミニ講話も



健康増進課の職員の作品親子と交流していました



〈上:5組の活動〉 〈下:全体風景〉

〈最後に曲に合わせてダンス〉



〈参加者のお母さんへのプレゼント作品〉

河川のゴミ クリーンアップ

R7.6.1 環境美化統一行動

福田地区地域づくり協議会連絡会主催で、ぼう僧川の法面等のプラスチック、ビン、缶、発泡スチロール等のゴミを集めました。

河原のはまぼうの木の根元にたくさんのプラスチックゴミが流れ着いていましたが、1時間の活動によってたいへん綺麗になりました。

川下だけでなく、流域全体での行動が必要だと思いました。ペットボトル・缶・ビン等責任を持って、分別回収に取り組んだり、堤防等に捨てないようにしたりして、利用者一人一人が気を付けたいものです。さらに、海のマイクロプラスチック汚染問題に意識を持って取り組んでいきたいものです。



〈たくさんのゴミを拾う参加者たち〉



〈流されてきたゴミ〉

〈拾い集められてたゴミの山〉

